

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	九十九谷森林公園の景観整備とくりん草園及びアジサイ園復活事業		
事業主体 (連絡先)	喬木村		
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業		
事業タイプ	ソフト・ハード		
総事業費	7,452,500 円	(うち支援金)	5,000,000 円)

事業内容

喬木村を代表する観光地であるくりん草園を中心に、令和2年7月の豪雨災害で被災した九十九谷森林公園内の復活事業を実施。

- ・くりん草植栽地に流入した土砂撤去及び水回し修繕
- ・くりん草植栽地への苗の定植等実施
- ・くりん草園周辺へのドウダンツツジ苗木の定植実施
- ・アジサイ草園内の一部土砂撤去



【ドウダンツツジ苗木植栽作

【目標・ねらい】

- ①九十九谷森林公園の環境保全及び景観形成
- ②くりん草園の復活による、村の特色ある観光地づくり
- ③担い手の確保と地域協働の推進

事業効果

①九十九谷森林公園の環境保全及び景観形成
令和2年7月の豪雨災害により被災したくりん草生育地へ苗の定植及びドウダンツツジ苗木300本の植栽、防火貯水池の土砂撤去により、くりん草園周辺において森林公園の景観が回復しました。

②くりん草園の復活による、村の特色ある観光地づくり
ボランティアと共に地域協働による作業を行い、愛好会及び財産区の元気と活力が取り戻されたと共に喬木村を代表する観光地であるくりん草園が復活され、今年久々にくりん草まつりを開催しました。また、ドウダンツツジの苗木植栽により、くりん草シーズン以外にも観光で来園してもらえる公園として整備を図りました。

③担い手の確保と地域協働の推進
草愛好会による「くりん草まつり」が小規模ながら開催でき、来園された観光客や地域住民にくりん草園の魅力をPRできました。また、開花時期以外に地域協働による作業を実施したことにより、愛好会の新規会員加入及び担い手の確保に繋がると共に地域主体による持続的な維持管理にも繋がりました。

※自己評価【 B 】

【理由】

くりん草園はほぼ整備が済みましたが、アジサイ園はほとんど整備が済みませんでした。ボランティアによるくりん草の苗定植やドウダンツツジの苗木植栽は数年後を楽しみに作業していただくことができました。今後も継続的な整備が必要な状況です。

今後の取り組み

くりん草園内の整地はほぼ完了したため、次年度以降も愛好会によるくりん草まつりを開催し、多くの来園者に復活した様子をPRしていきたい。また、ボランティア作業の参加者との繋がりを大切に、今後も作業ボランティアを募りながら、くりん草園及びアジサイ園の維持管理を図っていきたい。

新型コロナウイルスの対応見直しに伴い、地元中学生のボランティアクラブ等とも連携し、若い世代にも関心を持ってもらうためにボランティア作業への参加を働きかけ、継続的な維持管理活動にも繋げていきたい。

なお、今後はアジサイ園における復旧事業のほか、複数年計画により九十九谷森林公園の景観整備に取り組んでいきたい。